



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 名

上場会社名 名港海運株式会社
コード番号 9357 URL <http://www.meiko-trans.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤森 利雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 熊澤 幹男

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 052-661-8134

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	31,104	4.3	1,952	26.2	2,409	26.9	1,546	35.9
26年3月期第2四半期	29,815	4.4	1,547	△11.1	1,899	△20.4	1,138	△20.7

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 2,481百万円 (△10.2%) 26年3月期第2四半期 2,763百万円 (716.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	51.51	—
26年3月期第2四半期	37.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	92,187		77,207		81.0	
26年3月期	89,150		73,258		79.5	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 74,670百万円 26年3月期 70,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,500	1.6	3,550	4.1	4,150	1.6	2,500	6.4	83.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	33,006,204 株	26年3月期	33,006,204 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,975,290 株	26年3月期	2,973,126 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	30,031,954 株	26年3月期2Q	30,038,663 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心とした設備投資が増加傾向にあり、雇用・所得環境も改善の動きがみられたものの、消費税率引き上げ後の個人消費および住宅投資の落ち込みが今なお残り、円安の進行により原材料価格が上昇するなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

一方、世界経済は、欧州においては、ロシア・ウクライナにおける政情不安や厳しい雇用環境等により、景気の低迷が続いておりますが、米国は雇用環境の改善を背景とした個人消費の増加や設備投資の回復により、緩やかな回復基調が見受けられました。アジアにおいても、中国では輸入は伸び悩んでいるものの、輸出は堅調に拡大しております。

このような環境のなかで、当社グループが営業の基盤を置く名古屋港の港湾貨物は、工作機械や航空機部品の輸出、麦や非鉄金属の輸入は増加しましたが、自動車や自動車部品の輸出、鉄鉱石や液化天然ガスの輸入は減少しました。

当社グループといたしましては、輸出貨物は、工作機械や鋼材の取扱いが増加しましたが、電気機器の取扱いが減少しました。輸入貨物は、とうもろこしや油脂原料の取扱いが減少しましたが、食糧の取扱いが増加となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結売上高は、311億4百万円と前年同期と比べ12億89百万円（4.3%）の増収となりました。

営業利益は、19億52百万円と前年同期と比べ4億5百万円（26.2%）の増益となりました。

経常利益は、24億9百万円と前年同期と比べ5億10百万円（26.9%）の増益となりました。

四半期純利益は、15億46百万円と前年同期と比べ4億8百万円（35.9%）の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

港湾運送およびその関連の売上高は、307億1百万円と前年同期と比べ12億円（4.1%）の増収となりました。賃貸の売上高は、4億3百万円と前年同期と比べ88百万円（28.3%）の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2億36百万円減少し、304億55百万円（前連結会計年度末比0.8%減）となりました。これは、有形固定資産の取得等により現金及び預金が5億30百万円減少した一方で、前払費用の計上等によりその他の流動資産が2億18百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて32億73百万円増加し、617億31百万円（前連結会計年度末比5.6%増）となりました。これは、株式時価の上昇等により投資有価証券が23億25百万円増加したことに加え、退職給付に関する会計基準の改正等により退職給付に係る資産が9億9百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて30億37百万円増加し、921億87百万円（前連結会計年度末比3.4%増）となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7億96百万円減少し、80億51百万円（前連結会計年度末比9.0%減）となりました。これは、短期借入金の返済による減少が3億円あったことに加え、その他の流動負債が2億15百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億15百万円減少し、69億28百万円（前連結会計年度末比1.6%減）となりました。これは、退職給付に関する会計基準の改正等により退職給付に係る負債が11億58百万円減少した一方で、退職給付に関する会計基準の改正及び投資有価証券の時価上昇等により繰延税金負債の増加が10億76百万円あったことなどによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて39億48百万円増加し、772億7百万円（前連結会計年度末比5.4%増）となりました。これは、主として利益剰余金が29億81百万円増加したことに加え、投資有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が10億26百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日に公表いたしました平成27年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が712,759千円、利益剰余金が1,351,800千円、少数株主持分が46,148千円増加し、退職給付に係る負債が1,463,974千円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,821,360	15,291,153
受取手形及び売掛金	11,301,511	11,396,793
有価証券	119,368	119,396
繰延税金資産	814,535	803,304
未収還付法人税等	43,856	36,089
その他	2,619,415	2,837,684
貸倒引当金	△28,018	△28,578
流動資産合計	30,692,029	30,455,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,481,948	40,070,091
減価償却累計額	△26,117,129	△26,700,539
建物及び構築物(純額)	13,364,818	13,369,552
機械装置及び運搬具	13,010,188	13,889,883
減価償却累計額	△10,767,024	△11,006,355
機械装置及び運搬具(純額)	2,243,163	2,883,528
土地	21,421,454	21,408,476
リース資産	513,371	530,307
減価償却累計額	△220,905	△268,839
リース資産(純額)	292,466	261,468
建設仮勘定	455,831	215,997
その他	1,265,086	1,349,746
減価償却累計額	△952,519	△962,219
その他(純額)	312,566	387,526
有形固定資産合計	38,090,302	38,526,549
無形固定資産	416,440	307,634
投資その他の資産		
投資有価証券	17,150,940	19,476,509
長期貸付金	433,082	392,092
繰延税金資産	530,808	309,441
退職給付に係る資産	283,817	1,193,378
その他	1,746,115	1,722,179
貸倒引当金	△193,255	△196,334
投資その他の資産合計	19,951,509	22,897,267
固定資産合計	58,458,251	61,731,451
資産合計	89,150,281	92,187,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,904,660	3,842,713
短期借入金	300,000	-
リース債務	130,216	111,691
未払法人税等	897,900	704,116
賞与引当金	1,472,728	1,465,701
その他	2,142,209	1,926,847
流動負債合計	8,847,715	8,051,069
固定負債		
リース債務	228,517	198,076
繰延税金負債	625,423	1,702,239
役員退職慰労引当金	13,256	13,491
退職給付に係る負債	4,974,382	3,815,916
資産除去債務	421,813	423,870
未払役員退職慰労金	477,100	475,525
負ののれん	702	-
その他	302,555	299,631
固定負債合計	7,043,751	6,928,751
負債合計	15,891,466	14,979,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,350,704	2,350,704
資本剰余金	1,601,404	1,601,404
利益剰余金	64,061,269	67,043,107
自己株式	△2,072,328	△2,074,560
株主資本合計	65,941,050	68,920,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,803,903	6,830,365
為替換算調整勘定	△850,251	△1,033,124
退職給付に係る調整累計額	△53,031	△47,400
その他の包括利益累計額合計	4,900,620	5,749,840
少数株主持分	2,417,143	2,536,978
純資産合計	73,258,814	77,207,474
負債純資産合計	89,150,281	92,187,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	29,815,178	31,104,933
売上原価	23,702,724	24,628,340
売上総利益	6,112,454	6,476,592
販売費及び一般管理費	4,565,162	4,524,204
営業利益	1,547,291	1,952,388
営業外収益		
受取利息	13,054	9,239
受取配当金	203,549	261,935
負ののれん償却額	96,395	702
持分法による投資利益	2,466	91,172
為替差益	7,437	1,748
その他	75,786	96,945
営業外収益合計	398,690	461,743
営業外費用		
支払利息	591	430
固定資産除却損	37,230	449
貸倒引当金繰入額	-	3,079
その他	8,416	254
営業外費用合計	46,238	4,213
経常利益	1,899,743	2,409,917
税金等調整前四半期純利益	1,899,743	2,409,917
法人税、住民税及び事業税	712,660	864,057
法人税等調整額	2,195	△49,533
法人税等合計	714,856	814,523
少数株主損益調整前四半期純利益	1,184,886	1,595,394
少数株主利益	46,418	48,552
四半期純利益	1,138,467	1,546,841

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,184,886	1,595,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,022,650	1,073,582
為替換算調整勘定	555,953	△192,932
退職給付に係る調整額	-	5,617
その他の包括利益合計	1,578,603	886,267
四半期包括利益	2,763,490	2,481,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,651,748	2,396,060
少数株主に係る四半期包括利益	111,742	85,601

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送および その関連	賃貸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,500,303	314,875	29,815,178	—	29,815,178
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	55,493	55,493	△55,493	—
計	29,500,303	370,369	29,870,672	△55,493	29,815,178
セグメント利益	1,292,811	248,570	1,541,381	5,910	1,547,291

(注) 1 セグメント利益の調整額5,910千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送および その関連	賃貸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,701,068	403,864	31,104,933	—	31,104,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	56,381	56,381	△56,381	—
計	30,701,068	460,246	31,161,315	△56,381	31,104,933
セグメント利益	1,667,803	277,743	1,945,546	6,841	1,952,388

(注) 1 セグメント利益の調整額6,841千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。